


2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

 ユシロ化学工業株式会社 TYO 5013

2022年2月



A dynamic splash of clear water against a light green background, with numerous droplets and ripples. The splash is positioned on the right side of the slide, partially overlapping the main title text.

2022年3月期第3四半期 連結決算業績概要

Results

2022年3月期第3四半期 連結業績概要

- 売上高は、主要顧客の自動車メーカーで半導体不足の影響があったものの、生産台数の回復による販売増で、前年同期比22.0%の増収。
- 営業利益は、原材料価格の影響はあるものの販売の回復により前年同期比105.0%増の845百万円。
- 経常利益は、営業利益の増加に加え助成金収入もあり前年同期比105.0%増の1,433百万円。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益の計上もあり前年同期比111.7%増の1,025百万円。

(百万円)

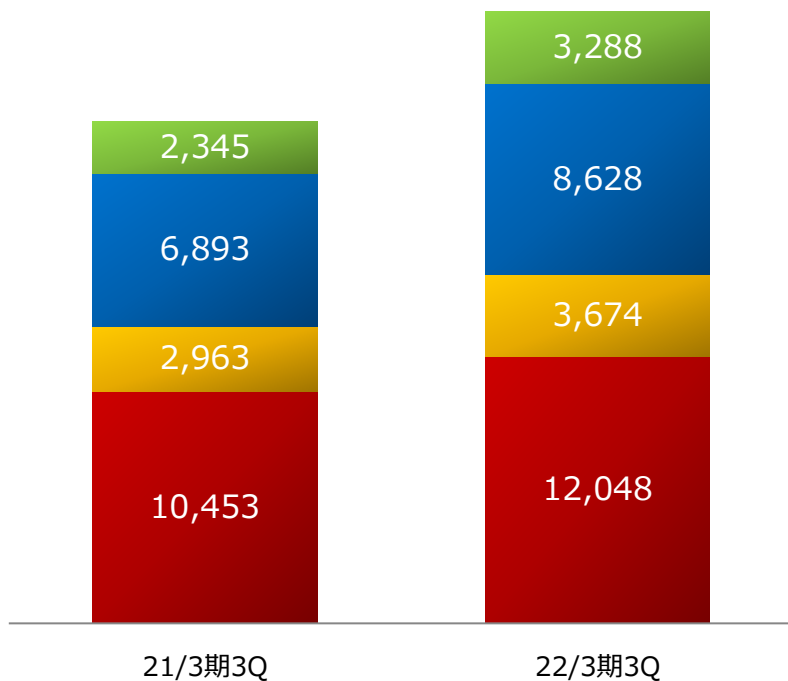
	21/3期3Q	22/3期3Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	22,656	27,639	4,983	22.0%
営業利益	412	845	433	105.0%
経常利益	699	1,433	734	105.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	484	1,025	541	111.7%

2022年3月期第3四半期 地域別売上高

- 国内：主要顧客である自動車メーカーの生産台数回復により増収。
- 海外：自動車生産台数の回復は各国により差があるものの、全てのセグメントで大きく増収。

セグメント別売上高（百万円）

■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド

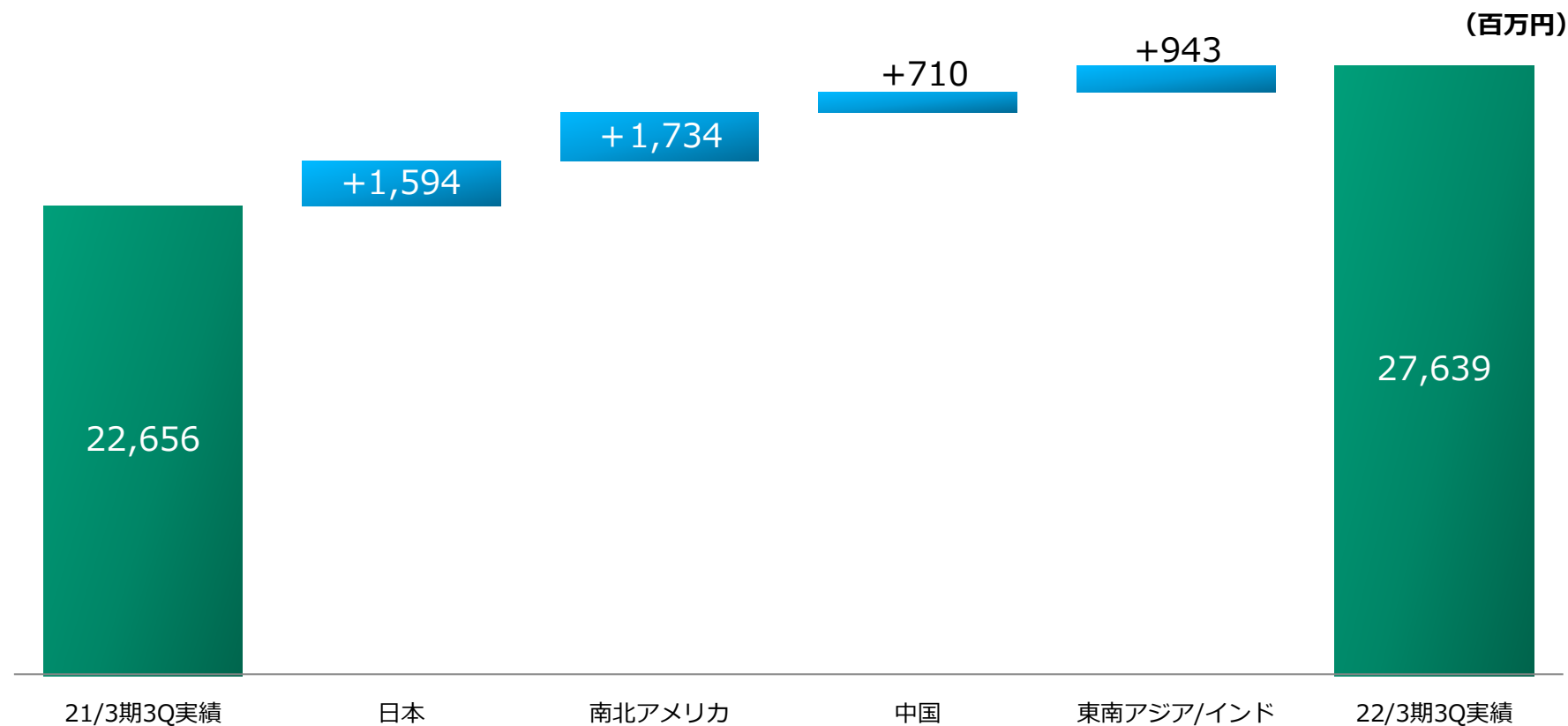


拠点別売上高（百万円）

拠点	21/3期3Q	22/3期3Q	増減率	
日本	11,583	13,411	15.8%	
アメリカ	アメリカ全体	5,980	7,331	22.6%
	うちクオリケム社	3,805	4,659	22.5%
メキシコ	624	780	24.9%	
ブラジル	427	784	83.5%	
中国	3,388	4,116	21.5%	
タイ	1,007	1,332	32.2%	
マレーシア	517	680	31.4%	
インド	408	636	55.9%	
インドネシア	549	840	52.9%	

2022年3月期第3四半期 セグメント別売上高増減

- 各セグメントとも、主要顧客の自動車メーカーで半導体不足の影響はあったものの、生産台数の回復により前年同期比で大きく売上高を伸ばす。

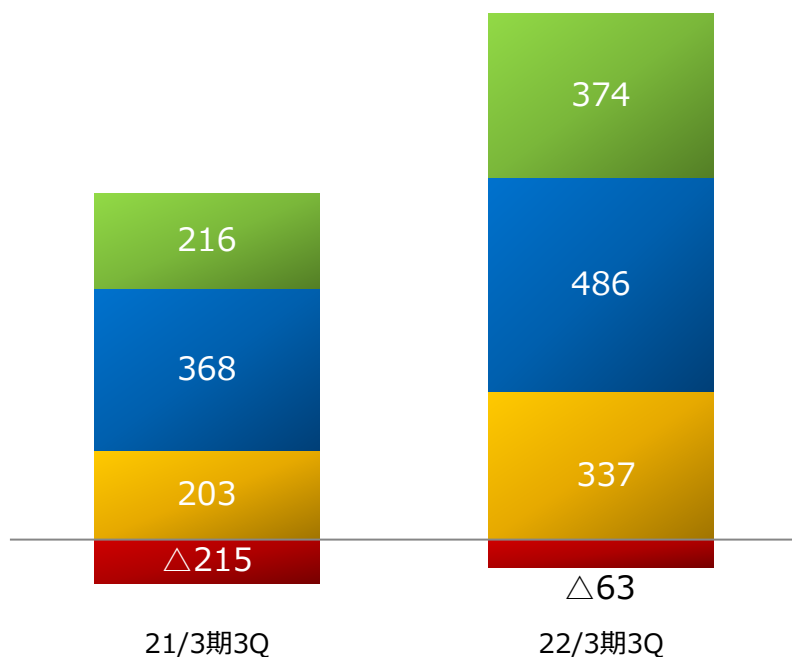


2022年3月期第3四半期 地域別営業利益

- 国内：増収により損失額が縮小。
- 海外：原材料価格及び人件費が上昇したクオリケム社、自動車生産の回復が遅れているメキシコでは減益も、その他の拠点は増益。

セグメント別営業利益（百万円）

■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド

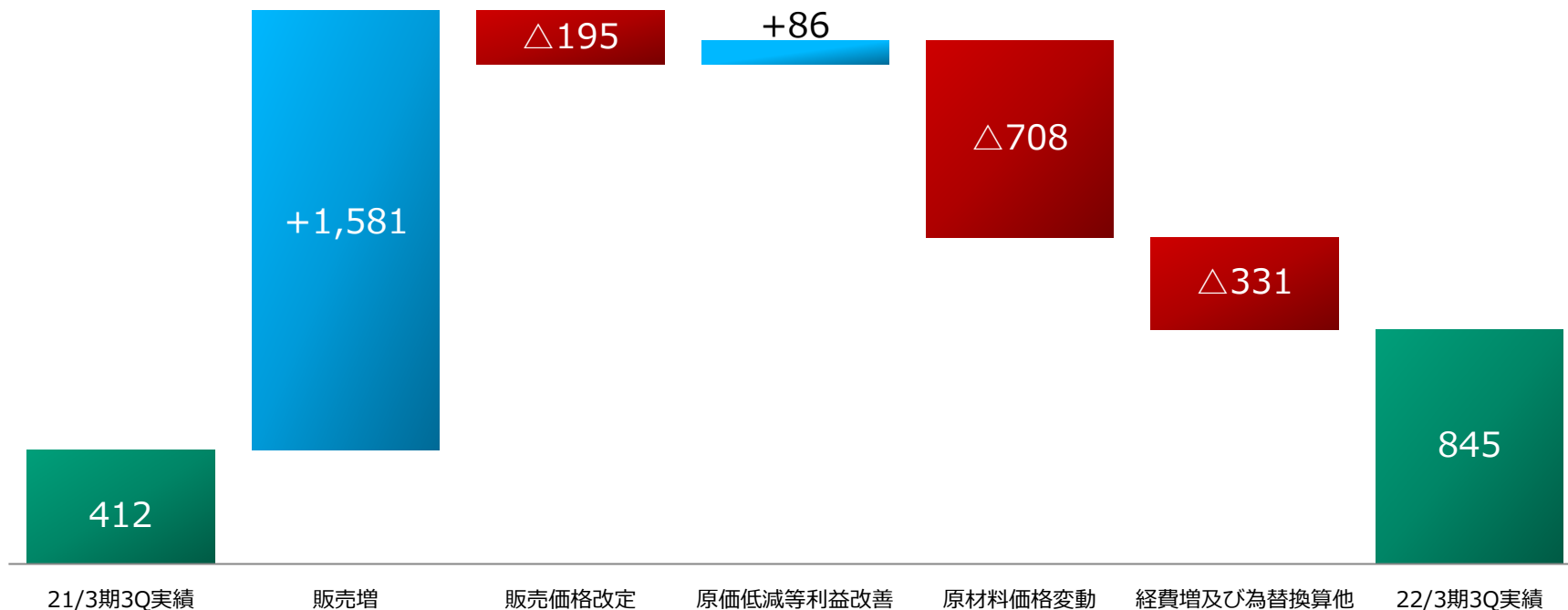


拠点別営業利益（百万円）

拠点	21/3期3Q	22/3期3Q	増減率	
日本	△314	△281	-	
アメリカ	アメリカ全体	389	441	13.3%
	うちクオリケム社	240	161	△32.7%
メキシコ	66	61	△8.3%	
ブラジル	△22	67	-	
中国	246	384	56.1%	
タイ	130	208	60.1%	
マレーシア	51	58	13.8%	
インド	25	33	32.2%	
インドネシア	97	172	77.2%	

2022年3月期第3四半期 営業利益増減要因分析

- 原材料価格高騰、販売価格の改定、経費増の減益要因があったものの、主要顧客である自動車メーカーの生産台数の回復が当社の販売増に繋がり、大きく増益。



2022年3月期 連結業績予想



Forecast



©2022 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

2022年3月期 連結業績予想

- 売上高：主要顧客である自動車メーカー及び自動車部品メーカーにおいて半導体不足による影響はあるものの、生産台数は回復しており前回予想を据え置き。
- 各利益：売上高は据え置いたものの、原材料価格が想定を大幅に上回る上昇をしているため、各段階の利益を下方修正。

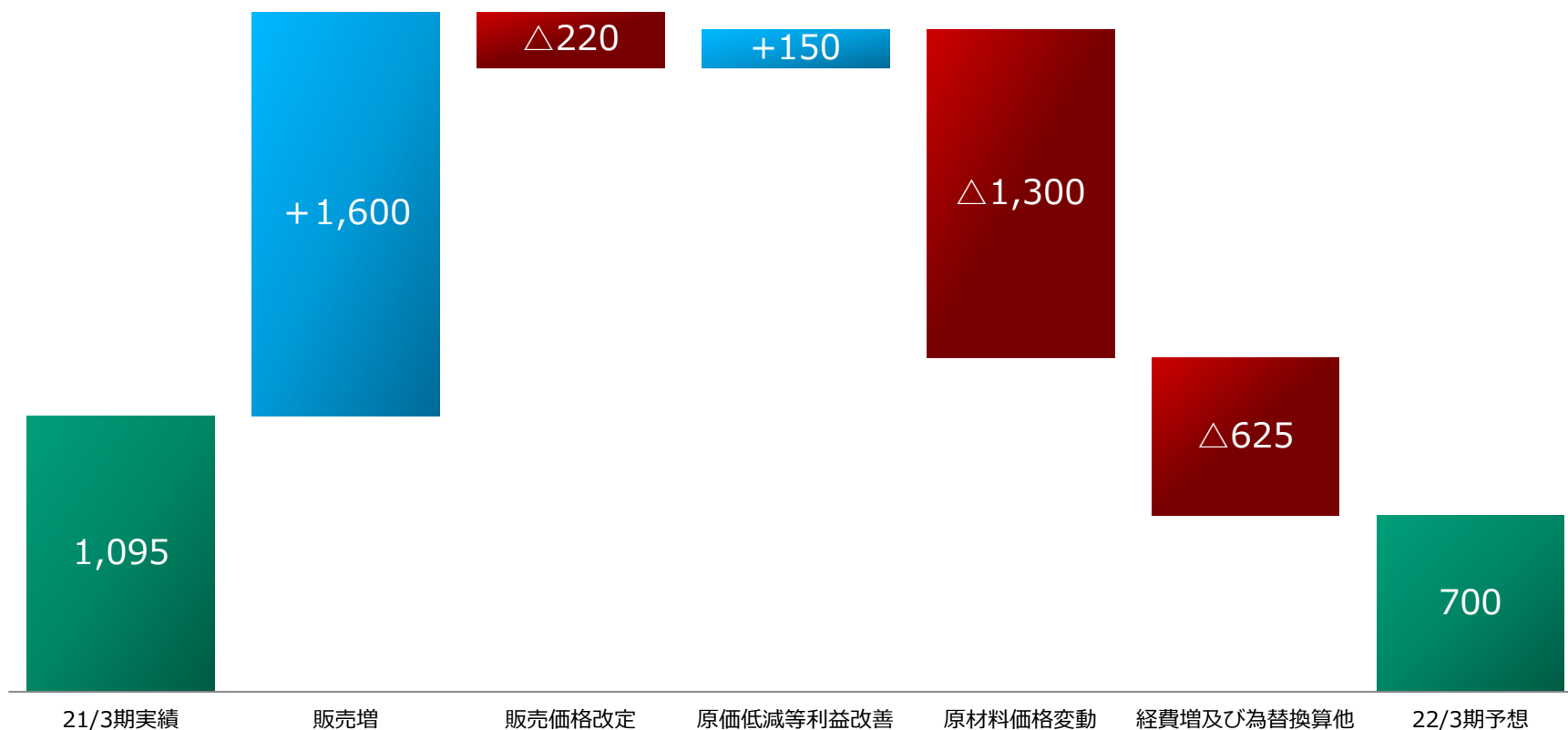
(百万円)

	21/3期 実績	22/3期 前回予想 (5月13日)	22/3期 今回予想 (2月4日)	前期比		前回予想から の増減額
				増減額	増減率	
売上高	31,661	36,000	36,000	+4,338	+13.7%	—
営業利益	1,095	1,800	700	△395	△36.1%	△1,100
経常利益	1,517	2,100	1,300	△217	△14.3%	△800
親会社株主に帰属する 当期純利益	978	1,300	700	△278	△28.5%	△600

2022年3月期 営業利益に関する見通し

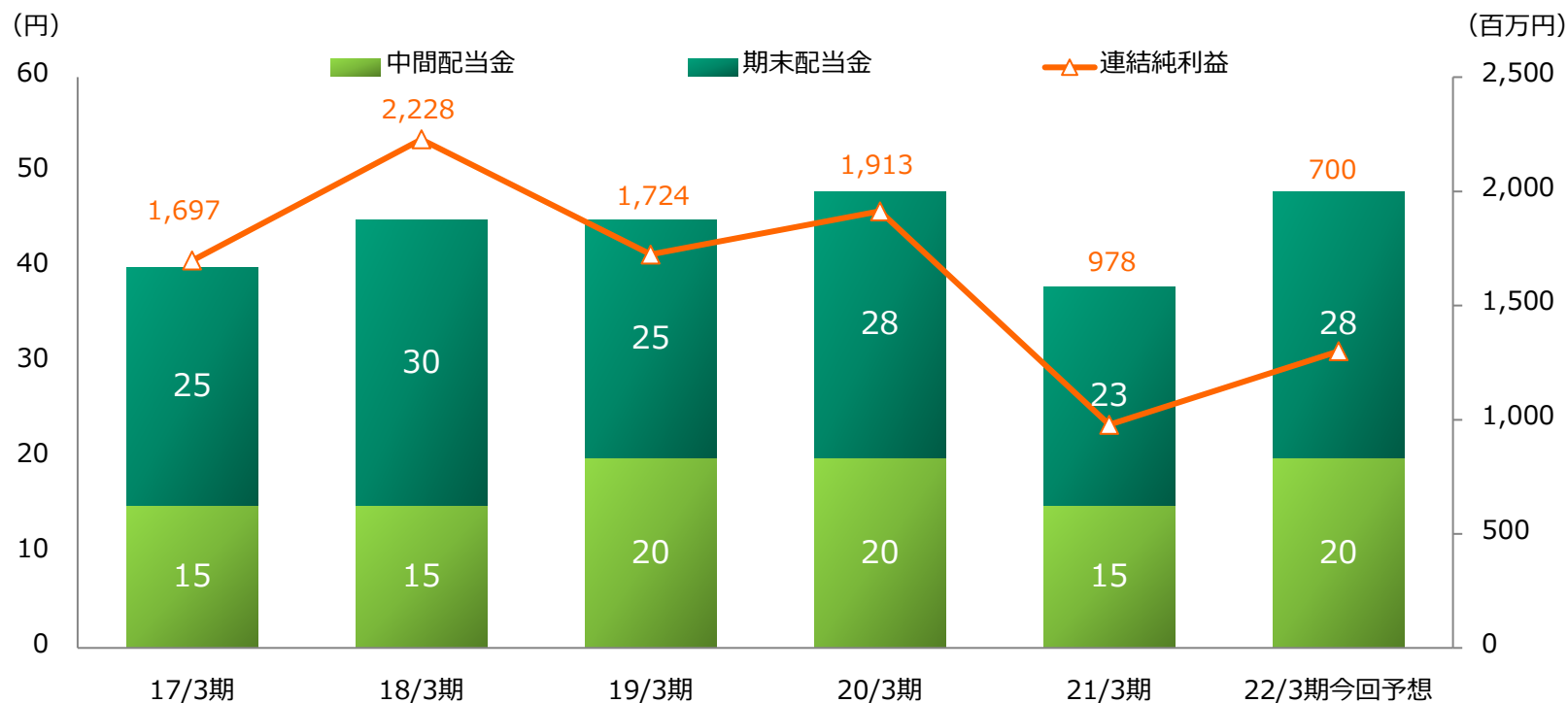
- 主要顧客である自動車メーカーでの生産台数回復による販売増があるものの、想定を上回る原材料価格の変動、販売価格改定、経費増他のマイナス要因により、前期減益を見込む。

(百万円)



株主還元

- 株主に対する利益還元を経営の重要施策とし、安定的・持続的に配当を行い、連結配当性向を30%以上とする。



配当性向 (連結) 32.2% 27.4% 35.4% 34.1% 52.8% 93.3%

純資産配当率 (連結) 2.0% 2.1% 2.0% 2.2% 1.7% 2.1%

1株当たり配当金 40円 45円 45円 48円 38円 48円



当資料取扱い上の注意

当資料に記されたユシノの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシノの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しのみに全面的に依拠されることは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

- ①ユシノグループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②世界の原油価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象 等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシノをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。